

一般社団法人 日本薬学教育学会 理事候補者 立候補届

一般社団法人 日本薬学教育学会 選挙管理委員会 宛 御中

次のとおり理事に立候補致したく届けます。

2026年 3月 21日

氏名	所属
岸本 成史 (会員番号：751-501-0039)	昭和薬科大学 薬学教育推進センター（センター長）・ 薬学教育推進研究室（主任教授）

略歴

1989年東京薬科大学を卒業。1991年東京理科大学大学院修士課程を修了後、帝京大学薬学部助手として入職。1998年東京大学にて博士号(薬学)を取得、2003年米国コネチカット大学リサーチフェロー、2005年帝京大学薬学部講師、2007年岩手医科大学薬学部准教授、2009年帝京大学薬学部准教授、2010年同教授を経て、2021年より現職に至る。

長年、生理活性脂質の炎症・アレルギーにおける役割に関する研究を行ってきたが、2009年からは薬学教育研究を推進するセンターの長として6年制薬学教育における新しい教育方法の開発と実践に携わっている。

所信表明

現在、少子高齢化や医療DXの加速等を背景に6年制薬学教育を取り巻く環境が劇的に変化しています。私は、薬学教育研究推進組織の長及び教務委員長として、この様な教育現場の最前線でカリキュラム改革や学習支援に尽力してまいりました。この度、一大学の枠を超えて、日本の薬剤師養成の質を底上げし、真に社会から“頼られる薬剤師”を輩出していく仕組みを構築したいと考え、本学会理事に立候補いたしました。会員の皆様と共に、次世代の薬学教育のグランドデザインを描き、国民からの薬剤師への信頼を寄せられる未来を切り拓いていく所存です。何卒よろしくごお願い申し上げます。